

「実習報告会での学びと気づき」(文責:下前)

今回の介護実習報告会を終えて、実習での様々な取り組みや学びについて気づくことができました。今回私たちは介護実習報告会に向けて、実習報告書の作成にも取り組みました。報告書などの資料の作成を通して自らの学びを再確認することができました。介護実習報告会には、他校の福祉科の先生方、施設職員の方、先輩方、保護者の方など多くの方に参加していただきました。報告会の本番では、介護実習報告や介護研究でそれぞれの個人の学びやグループごとの発表を行いました。

私は介護研究の「介護職にとっての積極性・主体性」について発表しました。今回の報告会を通して、それぞれの学びや反省を知ることができました。また、それぞれの観察やコミュニケーションの視点を知ることができ、自分に足りなかったものなどが分かるようになりました。これから、発表を通して学んだことを今後の実習で生かし、ケアの実践につなげていきたいです。



「常潤祭, 成功に向けた取り組み」(文責:大塚)

11月18日本校の文化祭である常潤祭に参加しました。今年は昨年以上に多くの取り組みを行いました。まず初めて行った取組として舞台での発表です。今回私たち生活福祉科2年生も舞台発表を行いました。舞台ではダンスをすることになり男女別のダンスと男女混合のダンスを行いました。常潤祭に向けて介護実習報告会・感謝祭などの行事が続き、短い期間しか練習ができずに間に合うかなと心配になることもありました。振り付けを覚えるためにクラス全体で練習したり、お互いに教え合ったりして本番を迎えました。

本番は先生や生徒はもちろんご来場のお客様、保護者のみなさんまで舞台発表を見ていました。練習やリハーサルとは違いともて緊張しましたがなんとか成功させることが出来ました。緊張からマスクを取り忘れてしまうことがありました。私たちは援助職を目指す中で顔の表情がとても大事にもなるので体の動きだけではなく顔の表情も次から意識していきたいと思っています。



【編集後記】

記事を担当した二人も書いてあるように、十一月は行事が多い一ヶ月でした。介護実習報告会に向けては、介護実践を自らの言葉で伝えることの教育的意義を重視しました。SNSなどに慣れ親しんでいる高校生にとってある程度まとまった文章を考え、言葉で伝える経験が少なくなっているのではないかと感じています。報告書を作成すること、プレゼンテーションで伝えること、これらもコミュニケーション技術と言えると考えています。同じように文化祭での発表も、楽しい雰囲気相手に伝える事が重要です。その学習の機会になつていれば嬉しく思います。介護実習報告会・文化祭ともに地域の方々にご来場いただきました。本校福祉科の教育が地域の皆さんに支えてもらっている事を再認識した時間になりました。ご来場いただきました皆様、ありがとうございます。

(学級担任 岩川亮太)